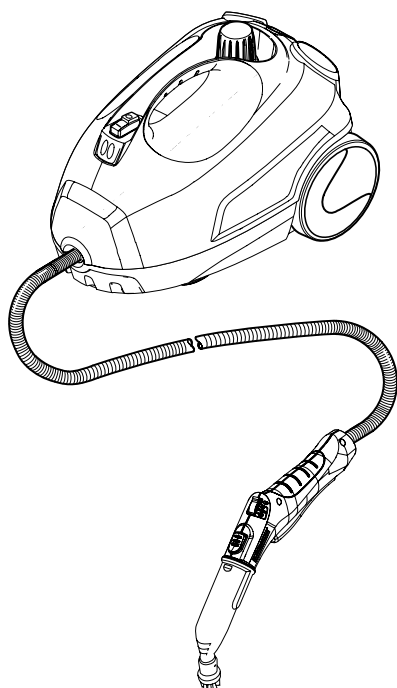


KÄRCHER

ケルヒャー家庭用スチームクリーナー

SC 2

取扱説明書



この度は、ケルヒャー家庭用スチームクリーナーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。

お読みになられた後は、本書をすぐ取り出せる場所に保管してください。

※この製品は業務用ではありません。

※この製品は組み立てが必要です。

※この製品はテスト後に出荷されているため、水分が多少残っている場合がありますが、製品の性能に問題はありません。

※ご使用前にボイラー内部を水ですすいってください。稀に白濁した水が出る場合があります。

はじめにお読みください

ご使用時の注意点

スチームクリーナーとは？

組み立て方

準備しましょう

使い方

お手入れ・点検・保管

故障かな？と思ったら

補修部品・
オプションアクセサリ

保証書・アフターサービス

SC 2 / 2016.11

5.967-688.0

SC 2 仕様一覧

品番	1.512-010.0
電源	100 V 50 Hz/60 Hz 共用
消費電力	1,500 W
スチーム吐出圧力	0.32 MPa (※ 1)
安全弁作動圧力	0.6MPa ± 0.05MPa (※ 1)
ボイラー加熱温度	143 °C
ボイラータンク容量	1 L
ヒートアップタイム(加熱時間)	約 6 分 (※ 2)
本体寸法 (長さ x 幅 x 高さ)	380 x 254 x 260 mm
本体質量	2.9 kg
電源コード長さ	4 m
<使用の目安>	
清掃面積	75 m ² (※ 3)
スチーム連続噴射時間	約 30 分
<交換時間>	
安全バルブ用 O リング	200 時間 (※ 4)
安全バルブ	1,000 時間 (※ 4)
定格使用時間	1 時間 (※ 5)
防水性能	
IPX4	

※ 1 1MPa = 10.2kgf/cm²

※ 2 水温 20℃の際の仕様

※ 3 一般的な住宅汚れに対し、1 回の給水で清掃できる面積の目安

※ 4 作業累計時間

※ 5 定格使用時間＝電源スイッチを入れているときの合計時間

- 仕様・外観は、開発・改良により予告なく変更する場合があります。
- この製品は家庭用です。業務用としての使用は想定しておりません。この製品は一回当たり 1 時間、週に 1、2 回程度の使用を想定してデザイン・開発しております。

はじめにお読みください…製品仕様

- ・仕様一覧
- ・各部名称と機能
- ・部品一覧

ご使用時の注意点…正しくご使用いただくために

- ・給表示について
- ・ご使用時の警告
- ・電気に関する警告
- ・ご使用時の注意
- ・ボイラー洗浄剤について

スチームクリーナーとは…説明と各種洗浄方法

組み立て方…本体の組み立て方

- ・ホイールとキャスターの取り付け

準備しましょう…各種準備について

- ・給水のしかた
- ・電源とヒートアップ
- ・使いはじめの注意点
- ・安全バルブの空回りについて

使い方…各種使用方法

- ・アクセサリーの選択
- ・フレキシブルフロアノズルの使用方法
- ・作業を中断、終了する場合

お手入れ・点検・保管…各種注意点

- ・お手入れとすすぎ
- ・ボイラーの洗浄方法
- ・点検と保管

故障かな？と思ったら…状況に応じた対処法

- ・各種原因と対処方法について

補修部品・オプションアクセサリー

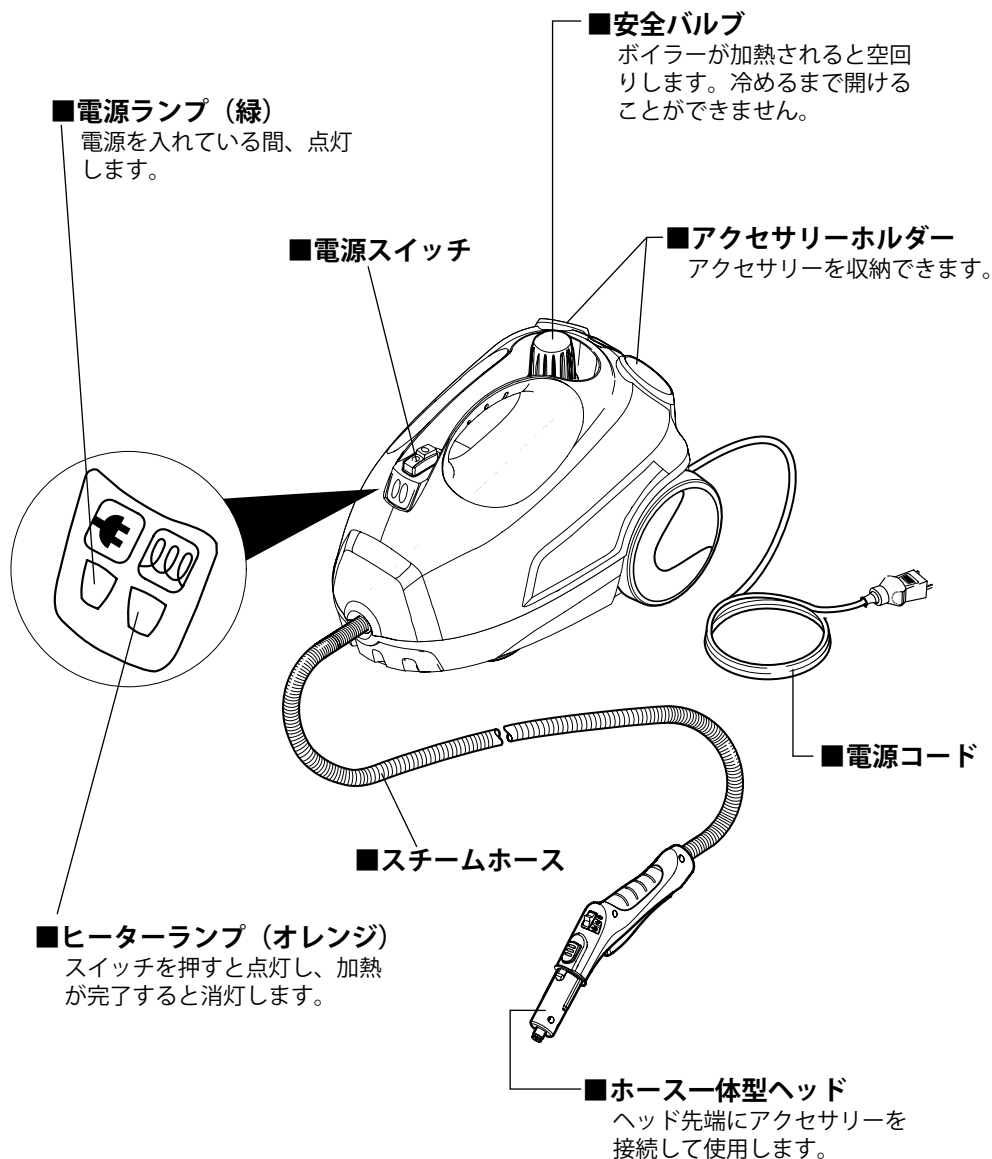
- ・補修部品一覧
- ・オプションアクセサリー一覧

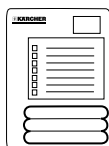
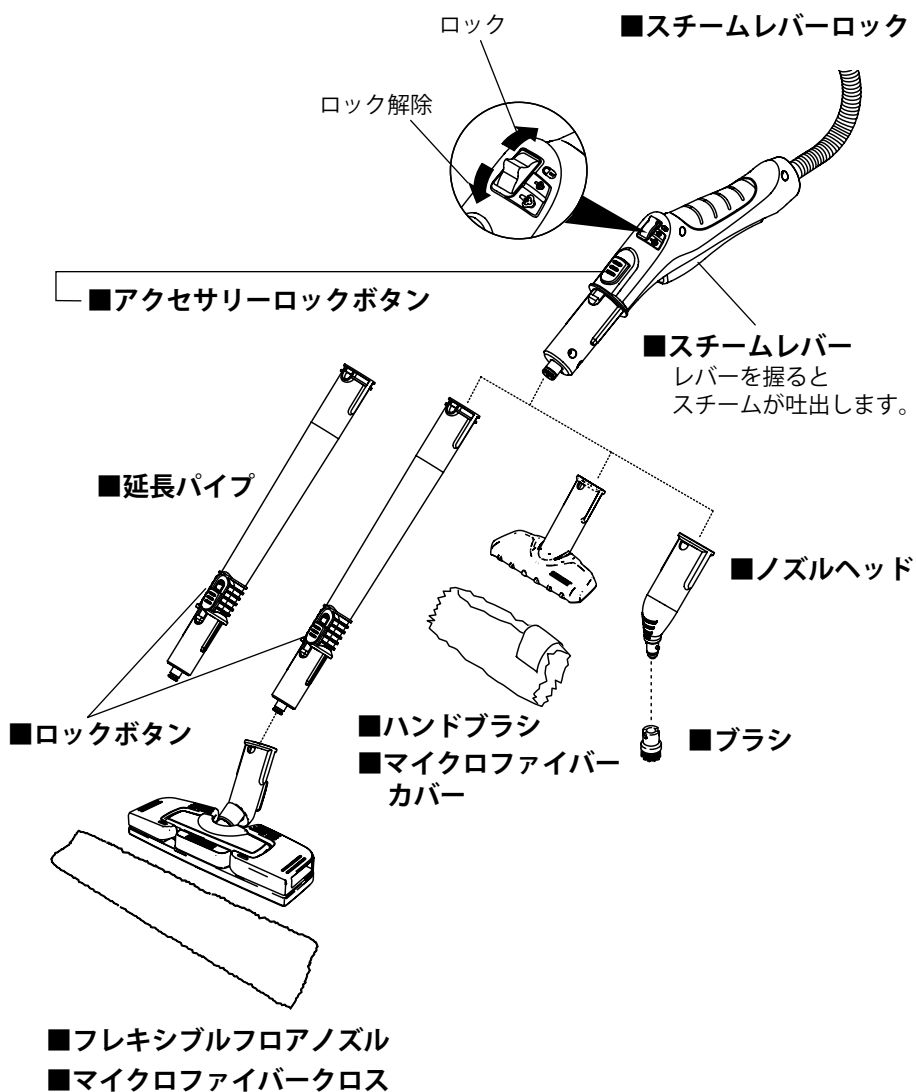
保証書・アフターサービス…保証内容・お問い合わせ先

- ・保証書
- ・保証内容
- ・お問い合わせ
- ・修理品送り先

はじめにお読みください

各部名称と機能





■ ボイラー洗浄剤



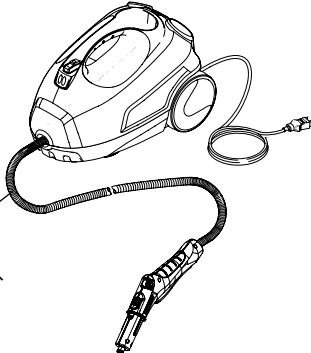
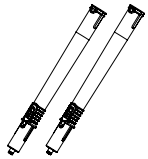
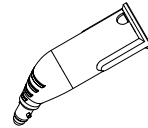
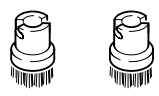
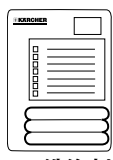
■ アクセサリーバッグ

はじめにお読みください

組み立て前の部品一覧

※本機をご使用いただく前に、全ての付属品がそろっていることをご確認ください。

※仕様変更により製品の形状と図が一致しない場合があります。

1  スチームホース 本体	2  キャスター 1 個 ホイール 2 個	
4  フレキシブルフロアノズル 1 個	5  マイクロファイバークロス 1 枚	3  延長パイプ 2 本
7  ハンドブラシ 1 個	6  ノズルヘッド 1 個	9  ブラシ黒 1 個 ブラシ赤 1 個
10  アクセサリーバッグ 1 個	11  ボイラー洗浄剤 3 本	

ご使用時の注意点

◎ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示は、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定されている内容」を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されている内容」を示しています。



の記号は「してはいけないこと（禁止）」を示しています。



の記号は「必ず実行してほしいこと」を示しています。



注意

洗浄は自己責任で行うこと

万一洗浄対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合、もしくは正しく操作せずにつけがを負った場合、当社では一切の責任を負いません。

ご使用時の注意点

⚠ ご使用時の警告

取扱説明書に従って正しく使用すること

火災・爆発・疾患・ケガの原因となります

子供には触らせないこと

子供が近づかないようにしてください。ケガをする恐れがあります。

スイッチを入れたまま放置しないこと

作業場所から離れる場合は必ずスイッチを切ってください。使用方法を知らない方が操作された場合、ケガをする恐れがあります。

改造禁止

火災、感電、ケガの原因になります。

ケルヒャー純正部品以外の、機械の性能や機能に適さない部品を取り付けて使用しないでください。

火気のそばに置かないこと

本体が変形し故障や火災につながる恐れがあります。



スチームを人体に向けて使用しないこと

ヤケドの原因になります。

異音、異臭、過熱時は直ちに使用を中止すること

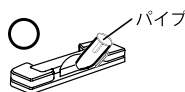
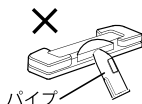
本体の異常を感じたら直ちに使用を中止し、点検・修理を依頼してください。

雨天時に野外で使用したり、水を本体に直接かけたりしないこと

絶縁、劣化により感電やショートの恐れがあります。

フレキシブルフロアノズルは逆にして使用しないこと

フレキシブルフロアノズルはパイプを下向きにすると外れます。スチームが漏れてヤケドを負う恐れがありますので、パイプ部分は必ず上向きに使用してください。



汚染された可能性のある場所で使用する場合はマスクなどの適切な防護服を身に着けること

汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。

修理は販売店またはケルヒャー ジャパンに依頼すること

個人の修理で生じたけが、事故、不具合に関しては一切責任を負いません。修理部品の販売はいたしかねます。

電気に関する警告

電源プラグやコードは正しく使用すること

火災・感電・ショートの原因となります



タコあし配線はしないこと

複数の電気製品（パソコン・電子レンジ・ドライヤーなど）を同じコンセントで使用した場合、電源コード、コンセントや屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。

電源コードを引っ張らないこと

電源コードを引き抜くときは先端のプラグを持ってください。電源コードが損傷すると、感電やショートを起こし火災を引き起こす恐れがあります。

本体や電源プラグに水をかけたり、濡れた手で電源プラグを触ったりしないこと

感電やショートする恐れがあります。

スイッチを入れたまま電源プラグを抜かないこと

感電する恐れがあります。

電源プラグは確実に挿し込むこと

コンセントに接続した際にゆりみ、ガタつきがある場合、製品や電源プラグ、屋内配線の過熱につながり発火を引き起こす恐れがあります。

電源プラグが変形している場合は使用しないこと

電源プラグが変形していたり、電源プラグの歯が曲がっている場合は、製品や電源プラグ、屋内配線の過熱につながり発火を引き起こす恐れがあります。

コンセントは本製品だけ（単独）で使用する

コンセントの挿し込み口が2つある場合は、もう片方の挿し込み口を使用しないでください。

交流 100V 単相電源専用

異種電圧で作動させた場合、火災の恐れがあります。

ラベルに記載された電源でご使用ください。



延長コードは 15A 仕様を使用し、10m 以上延長しないこと

規格以下の延長コードを使用した場合、製品や延長コード、屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。15A 以上の規格のものを最長 10m でご使用ください。

コードリールは完全に伸ばして使用すること

コードリールのコードを巻いたまま使用すると、コードリール自体や製品、延長コード、屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。

ご使用時の注意点

ご使用時の警告

取扱説明書に従って正しく使用すること

火災・爆発・疾患・ケガの原因となります



**使用中は、安全バルブを触ったり、覗き込んだりしないこと
故障時に安全バルブが作動することがあります**

スチームクリーナーには、安全装置としてボイラー圧力が高くなるのを防ぐための圧力逃がし弁が安全バルブに組み込まれています。万一の故障時や、定期メンテナンス不備によるボイラー内部へのスケール付着などによりボイラー内部の圧力が異常に高くなった場合、安全バルブの圧力逃がし弁が作動しスチーム（蒸気）を勢いよく上方に噴き上げます。

絶対に安全バルブの上で作業を行ったり、近づいたり、覗き込んだりしないでください。ヤケドの恐れがあります。

**本体に電源が入っている、もしくは本体がまだ熱いうちは、
安全バルブを回さない事**

スチームが出なくなった後、スチームボタンを押し続けると、安全バルブが開く場合がありますが、本体が冷めるまでは、開けたり、給水したりしないでください。お湯が噴き出しヤケドをする可能性があります。

安全バルブは本体が十分冷めてから開けること

安全バルブは本体が人肌以下まで冷却された後、開けてください。
熱い状態で開けた場合、お湯が噴き出し、ヤケドの原因となります。

安全バルブの O リングを確認すること

電源を入れる前に確認をしてください。

O リングに亀裂、割れなどがある場合は絶対に使用しないでください。



長年使用のスチームクリーナーは定期点検を実施すること

点検を実施しない場合、メンテナンスキャップからスチーム（蒸気）が噴き出したり、ボイラーの加熱不良や過熱、スチーム吐出不良などのさまざまな不具合が生じたりする恐れがあります。安全に使用するため、必ず点検を依頼してください。

週に 1 回、1 時間程度の使用頻度の場合、2 年に一度を目安に点検をお勧めします。

常温の水を使用すること

お湯を入れた場合、機器が正しく作動せず、ヤケドを負う場合があります。
安全上必ず常温の水を使用してください。

ご使用時の注意

取扱説明書に従って正しく使用すること

思わぬ事故の原因となります

アクセサリ接続口の O リングが装着されていない、もしくは損傷している場合には使用しないこと
スチームがもれてヤケドの原因となります。

クロスクリップに指を挿し込まないこと
クロス脱落防止のためクリップは鋭くなっています。
指を挿し込まないでください。

本体を倒した状態で使用、または保管したりしないこと
ボイラーが損傷する場合があります。

熱に弱い床材の上で使用しないこと
熱で変形・変色する場合があります。



ガラス製品に傷がある場合は使用しないこと
割れる場合があります。

水道水以外の液体は絶対に使用しないこと
溶剤（シンナーなど）、油（ガソリン、灯油など）、アルカリイオン水、酸性水、雨水などを使用しないでください。使用した場合、本体が壊れる場合があります。また、蒸留水はボイラーを傷める原因となりますので使用しないでください。

洗剤や薬品、香水を入れないこと
洗剤や薬品・香水を入れた場合、ボイラーの破損、薬品火傷、健康に悪影響を及ぼす場合があります。

スチームホースを無理に引っ張ったりねじったりしないこと
スチームホースが損傷します。

凍結する場所には保管しないこと
凍結した場合、ボイラーが故障します。

ご使用時の注意点



ご使用時の注意

取扱説明書に従って正しく使用すること

思わぬ事故の原因となります

アクセサリーは確実に取り付けること

確実に装着されていない場合スチームがもれ、ヤケドの原因となります。

スチームボタンのロックをかけること

アクセサリーの着脱はスチームボタンをロックした状態で行ってください。ロックしていない場合、スチームボタンに誤って触れ、スチームが噴出しヤケドを負う場合があります。

手袋などの保護具を着用すること

作業時は手などに直接スチームがかかる場合や、汚れがはね返る場合があります。ヤケドやケガの防止のため適切な保護具を身に着けてください。

ガラス製品、窓ガラス、鏡の掃除には注意すること

- ・ 2 秒以上同じ場所にスチームをあてないでください。
- ・ 網入りガラスにはご使用いただけません。

ガラスの膨張率の違いにより割れる場合があります、ケガをする恐れがあります。



洗浄前に材質を確認すること

洗浄の前に必ず洗浄物の材質を確認してください。スチームは 100℃近い温度で出ます。

洗浄部分の材質によっては変色・変形など洗浄物を傷める恐れがあります。洗浄の前に目立たない部分で試してください。

本機は使用 50 時間ごとにボイラー洗浄（スケール除去）を行うこと
スケール（湯あか）がたまると故障の原因となり、安全弁が作動する場合があります。必ず純正ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）を用い、定期的にボイラーの洗浄（スケールの除去）を行ってください。

水を排出、補給する場合は冷却後に行うこと

必ず本体が人肌以下に冷却された後に安全バルブを外し、水の排出、補給を行ってください。本体が熱いうちに安全バルブを開ける、あるいは給水すると、お湯が噴き出しヤケドを負う場合があります。

低温やけどに注意すること

スチームレバーを握り続けて使用すると低温ヤケドを負う場合があります。違和感や熱いと感じたら、直ちに使用を中止してください。

◎ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）について

名称	RM 511 ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）
用途	スチームクリーナーのボイラー洗浄（スケール除去）用
成分	スルファミン酸、マレイン酸、L 酒石酸
液性	強酸性
内容量	3 本

使用上の注意



警告

- 吸入・飲用不可：人体に害があるので飲まない、吸引しないこと
- 皮膚の弱い人はかぶれる恐れがあるので、保護手袋を使用すること
- 子供の手の届かない所に保管すること



注意

- ボイラー洗浄剤は純正品を使用すること
- ボイラー洗浄剤を入れた状態で加熱しないこと
- 安全バルブをボイラー洗浄剤で洗浄しないこと
- 用途以外には使用しないこと
- 使用方法およびスチームクリーナーの取扱説明書をよく読んで使用すること
- ボイラー洗浄剤をこぼしたり、皮膚につけないこと
- 湿度、凍結を避け、冷暗所に保管すること

応急処置

- 飲み込んだ場合は、口の中をすすいでください。直ちに医師の診断を受けてください。
- 目に入った場合は流水で 15 分以上目を洗ってください。症状がある場合は医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付いた場合は大量の水と石鹸で洗い流してください。
- 薬品を吸い込んだ場合は新鮮な空気を吸い、体を休ませてください。

保管方法

- 湿度、直射日光や高温、凍結を避けて保管してください。

パッケージ

- プラ：カバー、PVC
- 紙：台紙

スチームクリーナーとは

スチームクリーナーとは？

スチームクリーナーは圧力鍋としくみが似ています。

水を入れ、密閉したボイラーで約 143℃まで熱し、スチームを発生させます。

吐出されるとき温度は約 100℃と高温でさらっとしたスチームが特徴です。

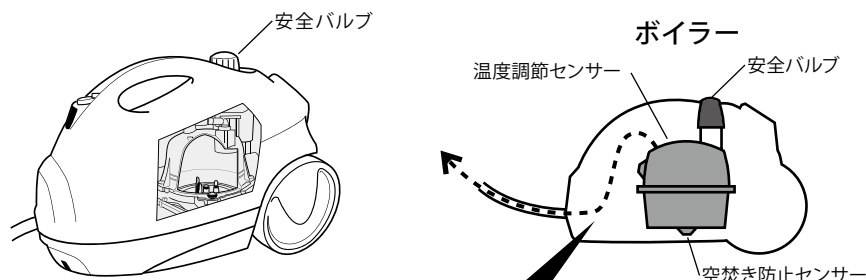
油污れなど温めると落ちやすい汚れに効果的です。

水分が少ないのでおうちの中のさまざまな場所でお使いいただけます。

※熱に弱い材質、壁紙、プラスチックなどは変形・はがれなどの恐れがあります。

ご使用の前に目立たないところでお試しいただくことをお勧めします。

スチームクリーナーの基本の仕組み



安全設計4つのポイント

温度調節センサー

ボイラー内の温度が一定温度に達すると加熱を止め、温度が下がると再度加熱を繰り返すので異常加熱の心配がありません。

空焚き防止センサー

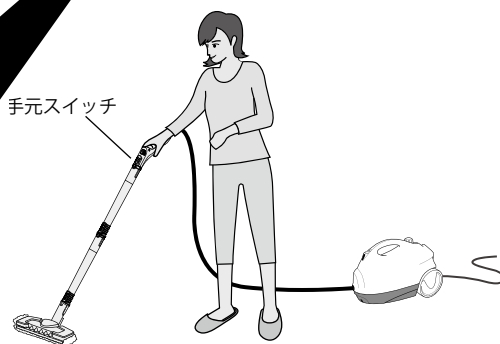
ボイラー内の水が無くなると、自動的に加熱を停止します。

安全バルブ

ご使用中は、空回りして給水部分を開けることができない安全設計です。

手元スイッチ

手元のレバーを握ってスチームを出します。レバーを離すとスチームが止まります。

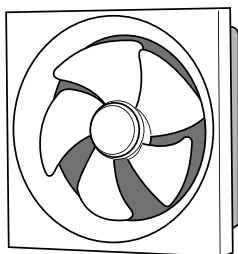


あると便利です

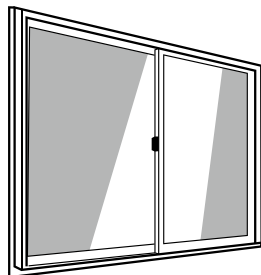
- ・ 手袋
ホースやレバーが熱く感じる時
- ・ 雑巾・雑布
スチームで溶かした汚れをふき取るとき

家中さまざまなところに使えます。

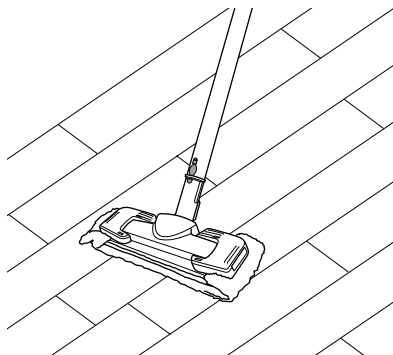
キッチン周りやガスコンロ、
換気扇のお掃除に



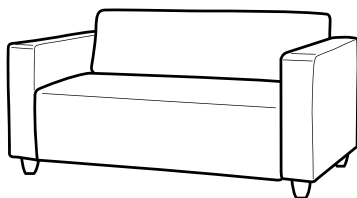
窓ガラスやサッシの
お掃除に



フローリングや畳の
お掃除もラクラク



ソファや車のシートなど
布製品のしみとりに



スチームクリーナーとは

上記以外にも、さまざまな用途にお使いいただけます。

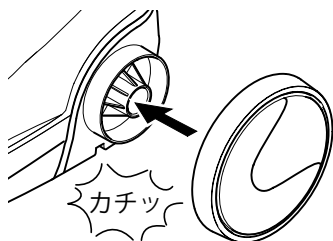
高温スチームの除菌能力について

ケルヒャーのスチームクリーナーを正しく使用すると、一般家庭の細菌を99.99% 除菌することができます（表面の硬い場所を清掃した場合）。

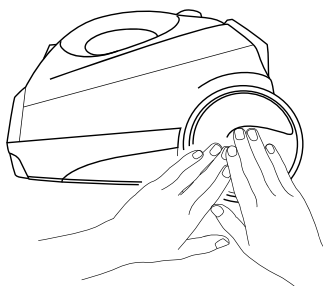
組み立て方

「ホイールとキャスターの取り付け」

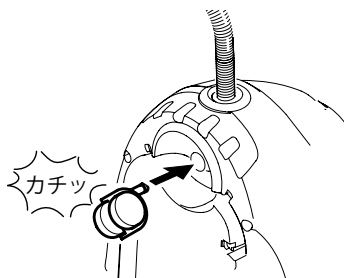
① ホイールを本体に取り付けます



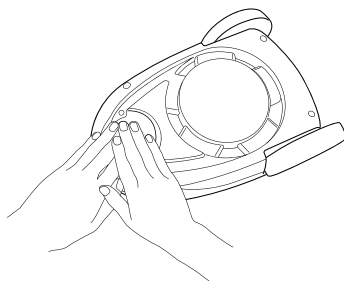
ホイールが固い場合は、両手で押してください。



② キャスターを本体に取り付けます



キャスターが固い場合は、裏返して両手でパチンと力を入れて押し込みます。

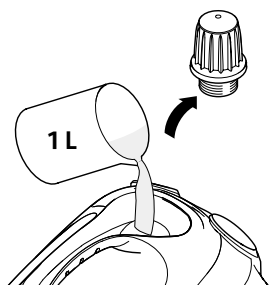


※本体を裏返すときは、本体や床にキズがつかないようにタオルなどを敷きましょう。
通電や給水はしないでください。

準備しましょう

「給水のしかた」

① 給水します



安全バルブを取り外し、水（20℃以下）を最大 1.0 L までゆっくりと補給してください。水を入れすぎると、スチームが水っぽくなり、お湯がでます。

最低使用給水量：0.5 L

最大使用給水量：1 L

ヒント：1 合（180 cc）のお米カップなら 5 回分で約 1 L です。



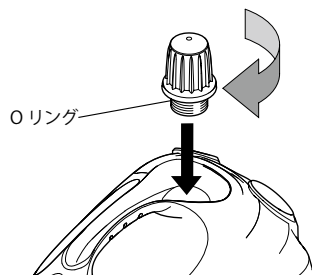
注意

■ 常温の水を使用すること
（20℃以下）

■ 水道水以外の液体は絶対に使用しないこと
溶剤（シンナーなど）、油（ガソリン、灯油など）、アルカリイオン水、酸性水、雨水などを使用しないでください。また、蒸留水はボイラーを傷める原因となりますので使用しないでください。

■ スイッチを切った状態で給水すること

② 安全バルブを閉めます



安全バルブの O リングに異常がないことを確認し、安全バルブを取り付けてください。O リングを外した場合は装着部位の溝に戻してください。



注意

■ 安全バルブの O リングを確認すること
給水ごとに確認をしてください。
O リングに亀裂、割れなどがある場合は絶対に使用しないでください。



注ぎ口の水はタオルなどで拭い取ってください。

水が注ぎ口に残っている場合、加熱を始めた際に蒸気となり、スチーム漏れと間違うことがあります。

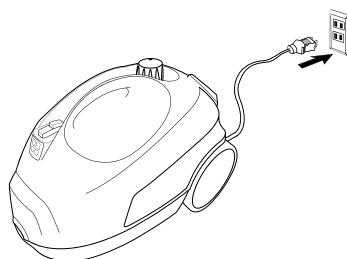
組み立て方

「ホイールとキャスターの取り付け」「給水のしかた」

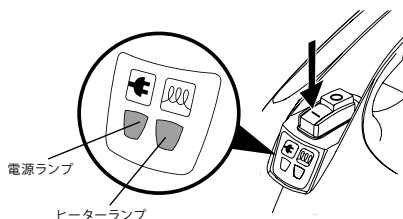
準備しましょう

「電源とヒートアップ」

③ 電源プラグをコンセントに挿し込みます



④ スイッチを入れます



電源プラグをコンセントにしっかり奥まで挿し込んでください。



電源を入れる前に、ボイラー内に給水してください。

ヒーターランプは点灯と消灯を自動で繰り返します。

スイッチを押すとヒーターランプが点灯して加熱が始まり、ボイラー内が 143℃に達すると自動的に加熱を停止、ヒーターランプが消灯します。スチームを出すとボイラー内の温度が下がるため、点灯と消灯を繰り返します。



注意

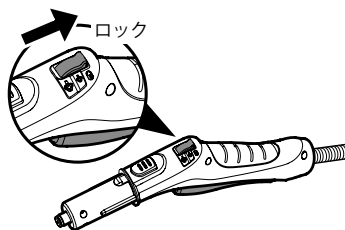
本製品は 1500W 仕様です。

■コンセントは本製品だけで使用ください。
コンセントの挿し込み口が2つある場合は、もう片方の挿し込み口を使用しないでください。

■洗面化粧台のコンセントは電気の最大許容量をご確認ください。



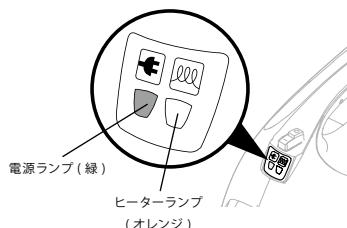
必ずスチームレバーをロックしてから操作してください。



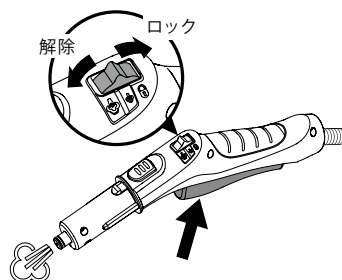
準備しましょう

「電源とヒートアップ」

5 約 6 分後



6 スチームを出します



約 6 分後、ヒーターランプ (オレンジ) が消灯したら、使用を開始することができます。ヒーターランプが消えても、スイッチを切らないでください。

スチームレバーロックを前方にスライドさせ、ロックを解除します。スチームレバーを握ると、スチームを出すことができます。

※加熱時間は水温により異なります。

※加熱を始めると安全バルブは空回りして開けることができません。本体が人肌以下に冷めると、再び開けることができるようになります。

注意

■作業を始める時、中断した場合
洗浄作業を行う前に、必ず布など
に向けてスチームホース内の湯を
出し、スチームが出るのを確認し
てから洗浄を行うこと。

作業を中断 (約 1 分以上) した場合、
スチームホース内に湯がたまり、
再度使用する際にノズルから吹き
出る場合があります。

■本体を倒したり、
立てた状態で使用しないこと
ボイラーが破損する場合があります。



ロック

使用しない時、アクセサリを交換する時は必ずロックしてください。



スチーム弱

スチームの量を少なくします。



スチーム強

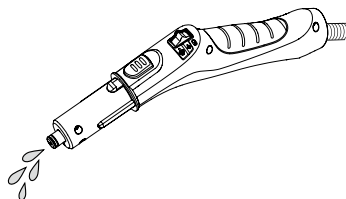
スチームの量を最大にします。

ヒント

スチームの出が安定しない時は、30 秒ほどスチームレバーを握ってください。

準備しましょう
「電源とヒートアップ」

使いはじめの注意点



使い始めは、お湯が出ます。

洗浄を始める前にレバーをひと握りし、しっかりスチームが出る状態になってから必要なアタッチメントを取り付けましょう。

(取付時には必ずスチームレバーをロックしてください)

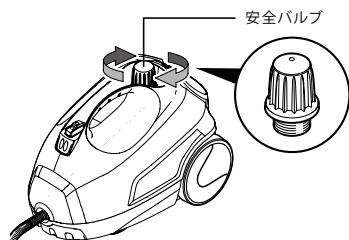
特に床掃除のときなどは、それが原因で床が濡れてしまう事もあります。

<お湯が混ざって出る場合>

使い始めてしばらくたっても水分が多めのスチームが出る場合は、水を入れすぎている可能性があります。

スチームが落ち着くまで、濡れてもいい場所に向けて出し続けてください。給水の際、計量して1L以上入れないようにしましょう。

安全バルブの空回りについて



加熱を始めると安全バルブは空回りして開けることができなくなります。

本体が熱いうちは、安全のため安全バルブのふたを開けることはできません。
安全バルブは本体が人肌以下まで冷却された後、開けてください。

熱いうちに給水するのは大変危険です。安全バルブが開いても、スイッチを切り本体が人肌以下に冷却されるまで待ってから給水を行ってください。

本体が熱い状態で安全バルブを開ける、あるいは給水すると、お湯が噴き出し、ヤケドする場合があります。



注意

■安全バルブは本体が十分冷めてから開けること

安全バルブは本体が人肌以下まで冷却された後、開けてください。
熱い状態で開けた場合、お湯が噴き出し、ヤケドの原因となります。

■本体が熱いうちは給水しないこと

スイッチを切って本体が十分に冷めてから給水してください。
また、給水の際は安全のため、必ずスイッチを切り、コンセントを抜いた状態で行ってください。

1 清掃する場所に合わせてアクセサリーを選びます



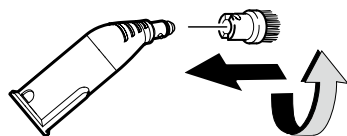
必ずスチームレバーをロックして付け替えましょう

ノズルヘッド+ブラシ

⇒サッシ、タイルの汚れ、キッチン周りや換気扇に

<取り付け方法>

ノズルヘッド先端部の爪とブラシの刻みを合わせて挿し込み、時計回りに回して固定します。

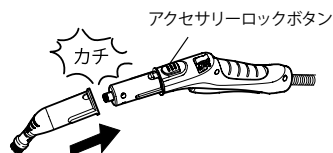


<取り外し方法>

ブラシを反時計回りに回し、引き抜いてください。

<ノズルヘッドの取り付け方法>

カチと音がするまで挿し込みます。



<取り外し方法>

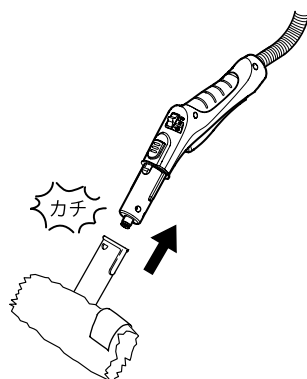
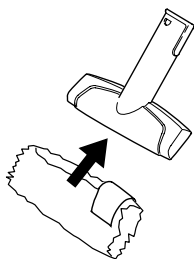
アクセサリーロックボタンを押しながら引き抜きます。

ハンドブラシ+カバー

⇒ソファ、網戸、レンジフード、車のシート、衣類のしわ伸ばしに

<カバーの取り付け方法>

ハンドブラシに被せて使用します。



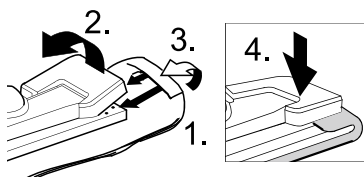


必ずスチームレバーをロックして付け替えましょう

フレキシブルフロアノズル+延長パイプ

⇒畳・カーペット・フローリングに

※クロスクリップに指を挟まないようにご注意ください。



＜取り付け方法＞

クロスをフレキシブルフロアノズルにあわせて両側をクロスクリップで挟みます。

※フレキシブルフロアノズルの使用方法については P24 をご覧ください。

※スチームの温度は噴き出し口で約 100℃です。材質や耐熱温度によっては使用できない場合があります。予め目立たないところでお試しく下さい。

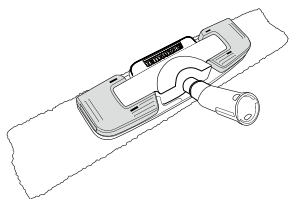


使い方

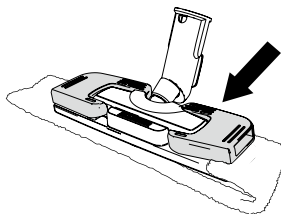
「フレキシブルフロアノズルの使用方法」

② クロスの上手な取り付け方

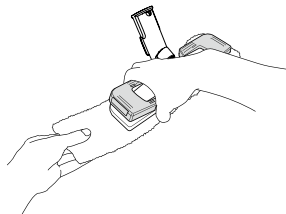
フレキシブルフロアノズルのクロスクリップを上げ、クロスの片方を挟みクリップを下げます。もう片方のクロスの端をひっぱりながらクロスクリップに挟み固定します。



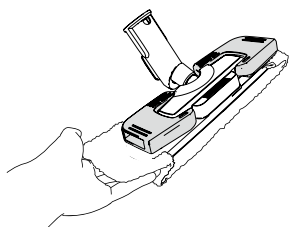
クロスの中央にフレキシブルフロアノズルを乗せます



矢印の部分を押すとクロスクリップが上がります

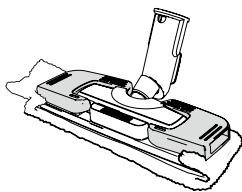


クロスの端を引っ張り、クロスを張った状態にします



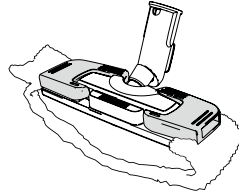
なるべく緩まないようにクロスをクロスクリップに押し込みながら挟みます

良い例



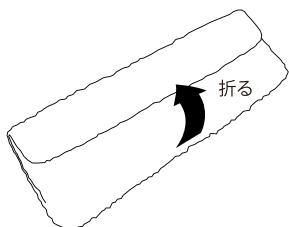
装着したクロスに緩みが無い

悪い例

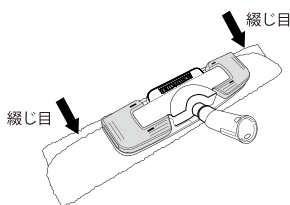


クロスが緩んでいる
緩みがあるとよれやすい

ご自宅/市販のタオルを使用する場合は、フレキシブルフロアノズルの大きさに合わせて適度にカット、もしくは折ってご使用ください。



タオルをフレキシブルフロアノズルのサイズに合わせて3つ折りにします



縦じ目をフレキシブルフロアノズルの底面側にしてクロスを挟みます

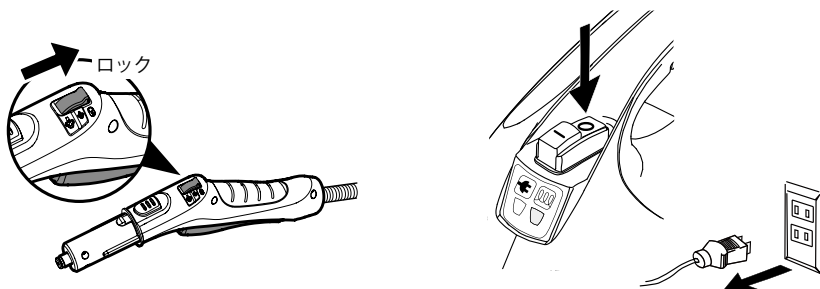


注意

クロスクリップ部分に指を挟まないように注意すること

クロスクリップ部分は、クロスが脱落しないように鋭くなっています。

③ 作業を中断、終了する場合は、スイッチを押して電源を切り、電源プラグを抜きます



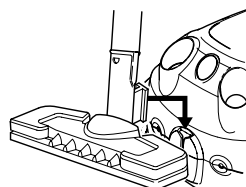
スチームレバーロックを後方にスライドし、ロックしてください。
スイッチ(O) を押し、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

本体が人肌以下に冷却された後、安全バルブを開けてボイラーに残った水を捨ててください。

※使用後は毎回ボイラーの水を捨ててください。

＜作業を中断する場合＞

フロアノズルを本体後部のフロアノズルフックに差し込み、本体に立てかけることができます。



本体が熱いうちは、安全バルブが開いても絶対に水を入れないでください。

お湯が噴き出しヤケドする恐れがあります。

必ず本体が人肌以下に冷めるのを待って給水してください。

給水の際は、安全のためにスイッチを切り、コンセントを抜いてから行ってください。



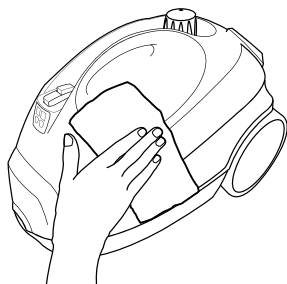
スイッチを切った後、電源スイッチのランプが消えていることを確認してください。



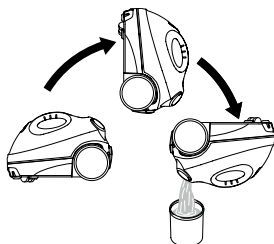
注意

- 作業を1分以上中断した場合
再び洗浄作業を行う前に、必ず布などに向けてホース内のお湯を出し、スチームが出るのを確認してから洗浄を行ってください。
スチームホース内にお湯がたまり、再度使用する際にノズルから噴き出る場合があります。

① 本体のお手入れ



② ボイラーのすすぎ (使用 10 回ごと)



スケール (湯あか) の付着を予防するために、ボイラーをすすいでください。

ぬるま湯か中性洗剤を浸した柔らかい布を固く絞って拭き取ってください。

使用したカバー (ハンドブラシ用) やクロス (フレキシブルフロアノズル用) は、中性洗剤で洗い、乾かしてください。

<ボイラーのすすぎ方>

- ① スイッチを切って電源プラグをコンセントから抜き、本体が人肌以下に冷めるまで放置してください。
- ② 安全バルブを外し、ボイラーの残水を全て捨ててください。
- ③ ボイラーに水を入れ本体をよく振り、その後、水を捨てます。(安全バルブは取り付けずに行ってください。)
すすぎを 3 回繰り返してください。

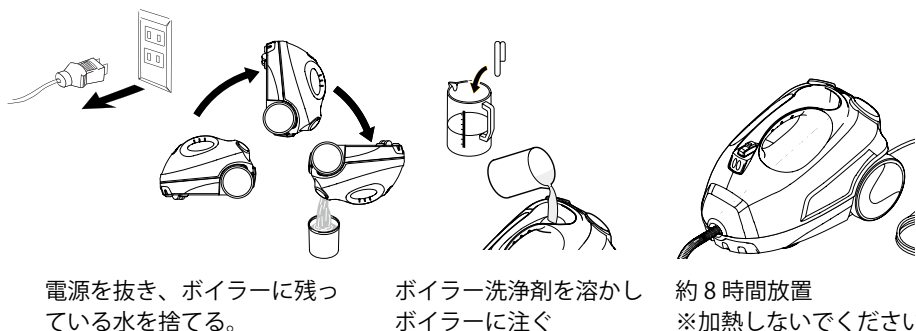
※水がこぼれないようにご注意ください。



すすぎの目安：使用 10 回ごと

使用を重ねていくとボイラー内部にスケール (湯あか) が付着し、温度が上がりにくくなります。また、スケールの付着は、故障の原因にもなります。定期的なお手入れでスケールの付着を防ぎ、安全にご使用ください。

③ ボイラーの洗浄方法



- ① P26 の「②ボイラーのすすぎ」を参照して、ボイラー内をすすいでください（安全バルブは取り付けないでください）。
- ② ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）を 1.5 本用意します。
- ③ 容器に 1L のぬるま湯を用意し、ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）を入れ、溶かしてからボイラーに注いでください。
- ④ その状態で約 8 時間放置します。
- ⑤ 8 時間後ボイラーの水を捨て、清水で 3 回以上すすいでください。
すすぎが不十分な場合故障の原因となります。
- ⑥ 安全バルブを取り付けてください。
- ⑦ 室内に保管してください。

※ボイラー洗浄剤を溶かした液が余った場合、変質を防ぐために捨ててください。
※余ったボイラー洗浄剤（スケール除去剤）は、湿気のない場所で保管してください。
※水がこぼれないようご注意ください。

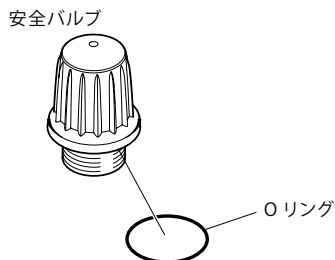
ボイラーの洗浄は使用 50 回ごと、または、ボイラー内に湯あかが付着した時に行ってください。



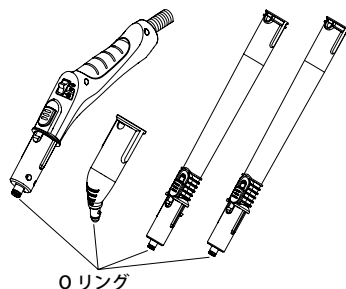
注意

- お手入れをする場合には必ず機械が冷めた状態で行うこと
- スイッチを切り、電源プラグを取り外した状態で行うこと
- P13「ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）について」をよく読んで使用すること

④ 安全バルブと Oリングの交換



⑤ アクセサリー接続口の Oリングについて



Oリングに亀裂・割れが無いか確認してください (Oリングは根元の溝に装着されています)。

傷・変形が生じている場合は新しいOリングと交換してください。

安全バルブ

注文番号：4.590-105.0

約 1,000 作業時間ごと交換

安全バルブ用 Oリング

注文番号：6.363-468.0

約 200 作業時間ごと交換

アクセサリ（ホース一体型ヘッド・ノズルヘッド・延長パイプ）接続口のOリングが装着されていない、もしくは損傷している場合、新しいOリングを装着してください。

※ Oリングの注文番号は P32 をご確認ください。



注意

- 安全バルブ、Oリングが損傷するとスチームもれが発生する恐れがあります。
- 規定時間以内でも損傷がある場合は交換してください。

補修部品のお買い求めは販売店あるいはケルヒャーお客様専用ダイヤルまでお問い合わせください。

6 定期点検について

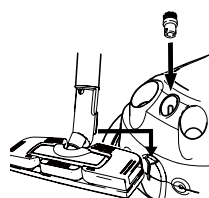
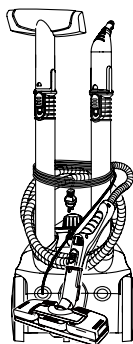
定期点検



長年使用のスチームクリーナーは
定期点検をおすすめします

週に1回、1時間程度の使用頻度の場合、2年に一度を目安に点検をお勧めします。

7 保管方法



フロアノズルは本体後部のノズルフックに挿し込み、本体に立て掛けることができます。

- 点検のご依頼は
お買い求めの販売店、ケルヒャー
お客様専用ダイヤルまでお問い合わせください。

アクセサリホルダーにアクセサリを収納した後、保管してください。



注意

- 点検を実施しない場合
安全バルブからのスチーム吐出、ボイラーの加熱不良、過熱、スチーム吐出不良など、さまざまな不具合が生じ安全作業ができなくなる恐れがあります。
- 安全に製品をご使用いただくために
保証期間（1年）を過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のための有償点検をお勧めします。



注意

- 保管前に必ずお手入れをすること
- ボイラーの水を抜いた状態で保管すること
- 安全バルブを閉めた状態で保管すること
長期間保管する場合には、安全バルブをゆるめに締めてください。再度使用する場合に開かなくなることがあります。
- 屋内のホコリのかからない、凍結しない場所に保管すること。
凍結した場合には、自然解凍をしてください。
- 本体を倒したり、立てた状態で保管しないこと。
ボイラーが損傷する場合があります。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら以下のことをお確かめください。

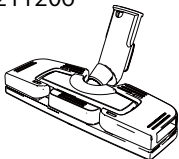
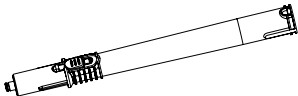
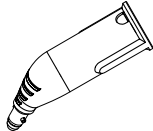
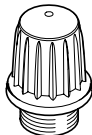
それでも解決しない場合は、**お客様専用ダイヤル（0120-60-3140）**までお問い合わせください。

このような時	原因	対処法
スチームが出ない	電源プラグがコンセントに接続されていない	▶ 電源プラグをコンセントに接続してください。
	本体のスイッチが入っていない	▶ スイッチを押し、ヒーターランプ（オレンジ）の点灯を確認してください。
	水が不足している	▶ 給水タンクに水を入れてください。
	スチームレバーがロックされている	▶ ロックを解除してください。
スチームが弱くなる	連続使用でボイラー温度が低下している	▶ 1~2分作業を中断し、ヒーターランプ（オレンジ）が消えるまで待ってください。
スチームが水っぽいお湯が出る	作業を開始したとき、中断したときは、スチームホースにお湯がたまる	▶ スチームホース内のお湯を、布や排水口などに排出してください。
	規定量以上にボイラーに給水している	▶ 本体が人肌に冷めるのを待って安全バルブを開け、再度規定量 1 L を給水してください。
スチームレバーが握れない	スチームレバーがロックされている	▶ ロックを解除してください。
本体下部より水漏れする	ボイラーが破損している可能性がある	▶ 使用をただちに中止し、販売店またはケルヒャー ジャパンに修理を依頼してください。

このような時	原因	対処法
安全バルブが空回りして外れない	本体が十分に冷めていない	▶ 本体を 1~4 時間程度冷まし、それでも外れない場合は、一日おいてから取り外してください。
本体が冷めた状態でも安全バルブが外れない 左に回せない	ボイラーに圧が残っている	▶ スチームレバーを握り、ボイラー内の残圧を下げてください。
	安全バルブがきつく閉まっている	▶ 力を入れて左に回してください。 開かない場合は、販売店またはケルヒャー ジャパンに修理を依頼してください。
安全バルブからスチームが漏れる	安全バルブがきちんと閉まっていない	▶ 電源プラグを抜き、本体が人肌に冷めるのを待って安全バルブを閉め直してください。
	安全バルブの O リングが損傷している	▶ O リングに亀裂が入っている場合は交換してください。
電源ランプ、ヒーターランプが点灯しない	本体のセンサーが働いていない、またはランプが切れている	▶ 販売店またはケルヒャー ジャパンに修理を依頼してください。
ノズルなどの接続が固い	接続部分の O リングが硬化、または損傷している	▶ 接続が固い場合は O リングに水をつけるとスムーズに接続できます。 硬化損傷の場合は交換してください。
電源コードが熱くなる	細い延長コードを使用している	▶ 15A 仕様のコードを最長 10 m までで使用してください。またはコンセントから直接電源を取ってください。
フレキシブルフロアノズルのパイプが外れる	フレキシブルフロアノズルはパイプを下向きにすると外れてしまいます 	▶ パイプ部分は必ず上向きにご使用ください。 ※パイプが外れたら：フレキシブルフロアノズルにパイプの接続部の平らなところを下向きにして挿し込み、パイプが上向きになるように回転させます。

故障かな？と思ったら

補修部品

フレキシブルフロアノズル 注文番号：4.130-023.0 JAN コード：4054278211206 	ハンドブラシ 注文番号：2.884-280.0 JAN コード：4039784048065 
延長パイプ 注文番号：4.127-024.0 JAN コード：4039784453395 	ノズルヘッド 注文番号：4.130-021.0 JAN コード：4054278135045 
アクセサリバッグ 注文番号：6.516-001.0 JAN コード：4054278055473 	安全バルブ 注文番号：4.590-105.0 JAN コード：4039784420540 
安全バルブ用 O リング 注文番号：6.363-468.0 JAN コード：4039784391277 ノズルヘッド用 O リング 注文番号：6.362-186.0 JAN コード：4002667181494	延長パイプ、ホース一体型ヘッド用 O リング 注文番号：6.362-922.0 JAN コード：4002667185829

※右ページのオプションアクセサリーの
情報は、当社ホームページからも
ご確認いただけます。



オプションアクセサリ

※仕様変更等により製品の形状が図と一致しない場合があります。

※注文番号は予告なく変更になる場合があります。

マイクロファイバークロスセット (お風呂用) 注文番号：2.863-229.0 JAN コード：4054278142173 	マイクロファイバークロスセット (キッチン用) 注文番号：2.863-228.0 JAN コード：4054278142166 
マイクロファイバークロスセット (フロアノズル用) 注文番号：2.863-231.0 JAN コード：4054278142197 	マイクロファイバークロスセット (ハンドブラシ用) 注文番号：2.863-232.0 JAN コード：4054278142203 
ブラシ 4 個組 注文番号：2.863-058.0 JAN コード：4002667013191 	ブラシ 3 個組 (真ちゅう製) 注文番号：2.863-061.0 JAN コード：4002667015577 
スチームターボブラシ 注文番号：2.863-159.0 JAN コード：4039784060142 	ノズルセット 注文番号：2.884-282.0 JAN コード：4039784048089 
窓用ノズル 注文番号：2.863-025.0 JAN コード：4054278180502 	RM 511 ボイラー洗浄剤(スケール除去剤) スティックタイプ 9 本入り 注文番号：6.290-239.0 JAN コード：4002667014822 

保証書・アフターサービス

保証書

お買い上げいただいたケルヒャー製品に万一不具合が生じた場合には、この保証規定に従い保証いたします。

この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■保証の内容

お買い上げいただきました製品を構成する純正部品の材料または製造上の不具合が起きた場合、ケルヒャー ジャパン株式会社本社修理センターで無料修理をいたします（この無料修理を保証修理といいます）。保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。

また、取り外した不具合部品は当社所有といたします。

保証修理を受けられる期間は新品を購入した日から1年間とします。

■保証できない事項

●修理の際の輸送費用

●次に示すものに起因すると判定される故障は、保証修理いたしません。

- ・取扱説明書の指示に反する使用
- ・保守整備の不備または間違い
- ・当社が提示している仕様の限界を超える使用（規定以上の長さの延長コードを使用した場合の電圧降下など、業務などで定格使用時間を著しく超えた連続使用など）
- ・当社が認めていない改造
- ・純正部品および指定する油脂類以外の使用
- ・ご使用者の不注意による故障（凍結、ボイラー内への異物混入、落下による故障など）
- ・業務で使用情况

●次に示すものは保証修理いたしません。

- ・経年変化により発生した不具合
- ・プラスチックカバーなどの自然退色、電源コード、ホースのひび割れ、Oリングの劣化、部材劣化に伴う性能低下など
- ・使用に際し品質、機能に影響のない感覚的現象（音、振動など）
- ・台風、水害、雪害などの天災による不具合
- ・薬品、塩害などに起因する不具合

●次に示すものの費用は負担いたしません。

- ・消耗品（油脂、ノズル、安全バルブ、Oリング、パッキン、バルブ、ホース、ブラシ、カバー、クロス、およびこれらに類する消耗品）
- ・ケルヒャー ジャパン以外での修理
- ・点検、清掃、調整、及び定期点検整備
- ・この保証書に示す条件以外の補修費用など
- ・本機を使用できなかったことによる不便さ及び損失など（休業損失、商業損失など）
- ・洗浄対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合
- ・正しく操作せずにケガを負った場合

●出張修理はいたしません。

修理はお買い求めいただいた販売店またはケルヒャー ジャパンへご依頼ください。

■保証の適用

この保証は日本国内で使用する当社製品のみに適用されます。
海外へ持ち出す場合は、その時点で保証が抹消されます。

■保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、下記保証書の各項目にご記入いただき、お買い上げいただいた際のレシート／納品書を添付の上、保証修理をお申し付けください。

製造番号は、製品の裏側もしくは後部に貼られている銀色のラベルに記載されています。

■保証修理の申し込み方法

ご購入の際に受領されたレシートあるいは納品書と下記保証書を添付の上、お買い上げいただいた販売店にお持ちいただくか、またはケルヒャー ジャパン株式会社本社修理センターまでお送りください。

ご不明な点がございましたらお客様専用ダイヤルまでご連絡ください。

お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

SC 2		保証期間： 1 年		製造番号：	
お買い上げ日 ： 平成 年 月 日					
お客様	ご住所：				
	お名前：		電話：() -		
販売店	住所：				
	店名：		電話：() -		
(故障状況)					

ケルヒャー ジャパン株式会社

本社： 〒 981-3408 宮城県黒川郡大和町松坂平 3 丁目 2 番
TEL： (022) 344-3140

※製品を長くご愛用いただくために「ユーザー登録」いただいたお客様に、サポート情報やキャンペーン情報をメールでお送りしています。ホームページ上部より「サービス」→「家庭用製品」「ユーザー登録」→「ユーザー登録（1年保証）はこちら」からご登録ください。

ケルヒャーホームページアドレス www.kaercher.com/jp/

製品に関するお問い合わせ

お客様専用ダイヤル

0120-60-3140

受付日：月曜日～金曜日（祝日、当社休日を除く）

受付時間：9:00～12:00、13:00～17:00

修理品送り先

〒981-3408 宮城県黒川郡大和町松坂平 3-2

ケルヒャー ジャパン株式会社

本社修理センター 宛

0120-60-3140

修理品をお送りいただく際には、ご購入日がわかるもの（保証期間内に限る）と35ページの保証書に故障状況をご記入の上、必ず同梱してください。

1. 保証書が34～35ページに添付されています。レシート、領収書、販売証明書、納品書などのご購入日がわかるものと一緒に大切に保管してください。
2. 保証書の保証内容、保証規定をよくお読みください。
3. 保証期間は保証書に記載されています。
4. 保証期間終了後の修理につきましては、下記のQRコードより、当社ホームページの「家庭用 修理・アフターサービス」にてご確認ください。

もしくは、製品をご購入いただいた販売店または上記お客様専用ダイヤルまでお問い合わせください。

